広報
さめがわ

第116号
昭和38年
5月1日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所



議員さんたちの御勉強

はげしい選挙の試練を経て当選された村議会の議員さんたちは、5月11日の初議会で議長以下の役員を決定し、21日22日と早くも村内施設の調査にのり出されました。

写真は林道石井草線境の松附近を視察する議員さんの一行。

青葉に風かおる

萌黄から淡緑へ、そしてたくましい濃緑にかわっていく木々の営みを眺めていると、躍動する生命の息吹きが身近に感じられます。

「目に青葉山ほととぎす初かつお」とむかしからこの季節をたたえました。

ビニール畑苗代が普及して農繁期が繰上ってきました。五月早々田植を初める精農家もあり、たばこの移植、こんにやくの植付と、農家は多忙な毎日が続きます。

農繁期の栄養と健康管理には十分注意しましょう。

伝染病発生の時期でもありますから予防に万全を期しましょう。

5月の人口と世帯

人口	7,905(+33)
男	3,921(+13)
女	3,984(+20)
世帯数	1,256(+1)

新らしい農業

飼料作物の多収穫

家畜の多頭飼育をしたいが経営面積が小さくて……という農家も多いと思いますが、飼料作物の多収試験の資料が手に入つたので紹介します。全講連が矢吹ケ原経営伝習農場へ委託して行なつたもので十アールで乳牛一頭が飼養でき、また生産された飼料作物を金額に見積ると反当八万八千円もの粗収入になつております。技術の基本となるものは、①深耕（六十センチ位）②土壌改良（堆肥、溶燐、消石灰などの多施）③多肥の三つです。その概要は、畑、火山灰性の軽しよう土で今まで野菜類などを作つていた深耕、一年目六十センチ、年目は行なわない。土壌改良、十アール当り堆肥十五トン、熔燐二トン、消石灰二百キロ、二年目に堆肥五トン、消石灰百キロ

栽培法と収量　一年目は青刈トウモロコシ、飼料カブ、ライムギとヘアリベッチの混播、これらの輪作で収量は二三、二七〇キロとなつています。

二年目は次のとおりです。

種類	播種月日	十アール当り収量
青刈トウモロコシ	5、22	一五、五二五キロ
〃	7、13	四、四〇四
紫カブ	8、16	三、六七二
ライムギ・ヘヤリベッチ	①9、28 ②11、2	（五、〇〇〇）—推定
計		二八、五九一

肥料　二年目（十アール当りキログラム）

種類	尿素	熔燐	塩加
青刈トウモロコシ	元肥四十 追肥二十	六〇〇	三十
〃	元肥四十 追肥二十	一〇〇	三十
カブ	元肥三十 追肥一四	八五	二五
ライムギ・ヘヤリベッチ	元肥四十 追肥四十	一〇〇	三十
〃	元肥四十 追肥四十	一〇〇	三十
計		九八五	一四五

以上のものをそのまま真似することは危険ですが、反収三万キロの飼料作物は、本村の水稲反収の約三倍に匹敵します。多頭飼育について田畑が少ないからとあきらめず、もう一度多頭飼育と飼料の自給について考えてみましよう。

（経済係）

多数の組合員が出席

四月二〇日に農協総会

農業と他産業との格差が益々大きくなりつつあるときに農村経済のたてなおしをはかり、組合員の営農安定と生活向上をはかろうとする農協の今後の活動には大きな期待が寄せられているが、再健整備計画がくりあげ達成され財務内容も健全化された本年は、構造改善事業の進行と並行して次のような事業が進められることになつた。

①営農推進員を育成強化し部分的協業又は協同化を促進する。

②外務員を採用し貯蓄の増強に努め農業近代化資金の貸付を積極的に推進する。

③農業倉庫の新築（浅川町に予定）

④その他サービス事業の積極的な推進

（写真は大平参事の説明に聞きいる組合員）

農協の新役員

通常総会及び理事会で次のように選任されました。

組合長　須藤彦太郎

副組合長　芳賀一郎

理事…高坂佳材、関根銀治、本郷銀七、鈴木市夫、矢吹清敏、鈴木作兵衛、鈴木喜一、青戸学男、松本栄一、藤田秀男、土手内万吉、

監事…蛭田栄、吉田稔、高野友弥、前田栄美、近藤保

団長に円井重雄氏

＝新しい消防団役員＝

消防自動車ポンプ二台と各部落には小型動力ポンプ十六台、手引ポンプ二台が配置され近代的装備をもつに至つた本村消防団の新役員は、次の通り選任されました。

団長…円井重雄、副団長…円井彦兵衛、訓練部長…蛭田藤留、庶務部長…矢吹義照

分団長…矢吹一二（西野）関根仁（西山）、湯座良一（中野）、前田照（東石）、坂本義利（富田）、小松保（渡瀬）、矢吹由栄（青生野）、

◇

満二十九年のながつきにわたり消防施設の改善と、消防団の発展に尽された前団長の北条正人氏は、このほど退職されました。

同氏の長年にわたる功績をたたえるとともに、今後の活躍を期待いたします。

（住民係）



共済組合の新役員

新しく次の方々が選ばれました。

（正副組合長は理事の互選）

組合長…吉田義夫（再）

副組合長…須藤栄恭

理事…松崎宝、水野芳光、松本啓、蛭田一、長井久、

監事…関根勝、森宗一、小宅利光

自衛官採用中

⊙国家公務員として安定した職業でありいろいろな技術が習得できる。

⊙定時制高校等に夜間通学、または通信教育を受けることができる。

⊙努力次第で上級幹部に昇進することができる。

1 応募資格
一八才以上二五才未満の男子で中卒以上の者

2 採用及び入隊
毎月下旬

3 初任給
一〇、一〇〇円（食事、被服、寝具無料支給）

4 申込場所
市役所、町村役場または郡山駐とん部隊細部は市役所、町村役場の係員または福島地連郡山出張所（郡山市長右工門林一番地）にお問合せ下さい。

（総務係）

おめでた

三月

二三日宝木　水野彦徳
二四日新宿　小林悦子
二七日後田中　大竹弘
二八日青生野　甲賀浩子
三〇日滝ノ下　蛭田みどり
三一日江竜田　芳賀弘幸

四月

一日草木　芳賀一成
一日青生野　鈴木幸夫
二日内ケ竜　宗田里美
二日鍬木田　戸村美智子
三日赤柴　箭内悦子
五日大石草　生田日順子
六日官沢　五十嵐美智子
六日鍬木田　緑川貞義
八日田尻　下重美代子
一〇日鍬木田　岡部忠男
一三日追木　水野洋
一六日菅田　関根勉
一八日前折戸　霜田勝彦
二〇日草牛　斉藤洋子

おくやみ

四月

六日関口耕地61　藤田篤

人事異動

人事異動（昭和三十八年四月十三日付発令）

総務係長　坂本恵司

兼経済土木係長

主事　前田守保

住民係から総務係へ

雇　青戸彦磨

税務係から住民係へ

依願退職

総務係長　前田栄美

新議員さんを迎えて初議会

激しい選挙戦をへて当選された十八名の村議会議員を迎えて、第七回村議会が五月十一日に開かれ議長選挙、各委員の選任が行なわれました。

当日選任された方々は次のとおりです。カッコ内は上の数字が議席番号、下段は年令です。◎印は委員長

議長…芳賀悟郎（1857）副議長…藤田佐一郎（1662）常任委員会▼総務…◎大竹茂（642）藤田佐一郎、中川西金之助、金沢省三（1563）蛭田正（1242）▼文教…◎船木操（1150）関根保政（1752）鈴木嘉上（448）金沢甲子男（153）▼厚生…◎湯座伝（954）北条正人（346）松崎宝（556）遠藤正雄（245）▼経済土木…◎藤田卓三（8）土手内万吉（1345）星弘義（1041）山形操（749）

臨時出納検査立会議員…鈴木嘉上、大竹茂、金沢甲子男

蛭田正　▼東白川地方衛生処理組合議会議員…中川西金之助　▼古殿鮫川隔離病舎組合議会議員…藤田卓三、船木操

藤田佐一郎、湯座伝、大竹茂

監査委員…船木操

各小中高PTA会長

新しく次の方々が選ばれました。

鮫小…前田弘、西野小…須藤勝男、西山小…鈴木一実、富田小…船木操、渡瀬小…蛭田栄、青生野小…鈴木清次、鮫小東野分校…吉田芳弥、同戸草分校…三瓶正司、鮫中…大楽勝男、高校分校…矢吹清敏

村連合PTA会長には大楽勝男、副会長には蛭田栄の両氏が選ばれました。

新しい校長先生

四月の教職員人事異動で西野小三名、西山小四名、鮫川小三名、富田小二名、渡瀬小五名、青生野小三名、鮫川中五名渡瀬中二名、青生野中一名、高校分校四名の先生方が変られたが新しく転入された校長先生は次の通りです。

西野小—作山敬一（石城郡泉中より）、西山小—森田清（安積郡湖南三代小）、富田小—渡辺喜好（船引町春山小）、渡瀬小—大野祐喜（田村郡関本小）、青生野小—大森重正（棚倉中）

ごあいさつ

村長　石田卯子八

このたびの地方選挙により重ねて村政を担当させて頂くことになりました。

皆様より賜わりました数々の御激励、御厚情に対しましてはただ感謝あるのみでございます。

この際心を新にし、一層の努力を傾けて、村政進展のために精進する考えでございますから、よろしく御指導御鞭撻の程おねがいいたします。

村議会も同時選挙をもつて新しく成立し、去る五月十一日の初議会で、議長副議長常任委員などの選任が行なわれました。

経験ある練達の再任議員四名と、新進気鋭の新任議員十四名による、清新にして強力なる議会の成立については、心からおよろこび申上げます。

議会と執行機関はその職責権限はもちろん異りますが「わけのぼるふもとの道は異れど同じ高嶺の月」を見るもので、村の発展と住民の福祉をこいねがう最終目的は同じであります。お互に権限の分野をまもりつつ目的達成のために最善の努力をつくしたいものです。

このたびの選挙を通じまして、住民皆様の村政に対する関心も一段と高められたことと思います。

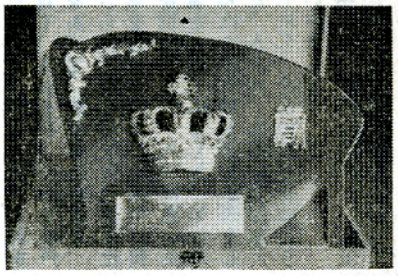
この関心が村をより明るくし、村民生活をより向上する方向に指向され、相互信頼と協力の上に、村作りが進展することをこいねがつて止まない次第でございます。



ねずみ駆除で表彰

三十七年度の県下一斉運動で赤坂中野区公衆衛生協力会が、県内最優秀賞に選ばれ県知事より表彰されました。

（写真はみごとな優勝楯）



村内の児童生徒数

五月一日現在で小学生一、四四五人、中学生六八四人で内訳は西野小二一八、西山小二四五、鮫小三八一、戸草分校九二、東野分校四四、富田小一二四、渡瀬小一八九、青生野小一五二、鮫中五〇九、渡瀬中一〇三、青生野中七二

「税の相談日」開設

国税庁では昭和三十八年度から新たに「税の相談日」を全国的に統一した形で開設することになりました。

棚倉税務署では五月から毎月五の日五日十五日二十五日を税の相談日として税務相談に応ずることになりましたからお気軽においで下さるようお待ちしております。

なお五の日が休みのときは翌日です。

食中毒に注意

そろそろ伝染病の発生しやすい時期になりました。

県内では新鶴村に集団発生があつて、学校も農家も休業の状態です。まことに困つたことです。おそろしい伝染病が本村からは一人も発生しないように特に次の点に留意されるようお願いします。

一、手洗いの励行

(1) 食前、用便、外出後は必らず手を洗うこと。

(2) 生水、生物（野菜）等はなるべく食べないこと

二、寝冷えを起さぬこと。

(1) 夜寝る時は腹巻をして寝ること。

(2) 早寝、早起の実行

三、お腹の具合の悪いときはすぐ医師の診察を受けること

家庭療法は一番危険ですから蔭さずにすぐ医師に届出ること。

四、子供達に万一次のような場合の応急処置としては、お腹に手を当てて見て熱があり、足が冷たい場合は（完腸）し安静にして頭を氷枕で冷し足の方を暖めるようにして医師の手当を受けて下さい。

（住民係）

渡瀬区長かわる

区長さんの藤田篤氏が死亡されたので、後任者に、芳賀正夫氏が代理から昇任、代理に芳賀洋郎氏が選任されました。

「けし」の栽培に注意しましょう

そろそろ大麻（あさ）の播種期です。

大麻（あさ）をつくる方は洩れなく県の免許を受けて下さい。もし、免許を受けないでつくると「大麻取締法」により重い罰を受けます。

免許の手続きについては市町村役場か保健所でお聞き下さい。「けし」は「あへん」法によつて一般につくることが禁じられています。違反者は植付一株につき一千円の罰金が科せられます。作つてもよい「けし」と悪い「けし」の写真は役場にありますからよく御覧下さい。

食用や観賞の目的でつくつても罰を受けますから注意して下さい。ただし「ひなげし」（一名虞美人草）や「おにげし」はつくつても差支えありません。

「けし」は変種のものがあつて一般には見分けがつかない場合もありますから、くわしいことは最寄りの保健所で聞いて下さい。

（住民係）

告知版

◉青年会の新役員

会長…鈴木孝雄、副会長…赤坂基、長久保テル子、事務局長…吉田忠男、同次長…大平忠一、常任委員…高坂盛栄、岡部宏、森啓、小松幸一、森田利一、関根英也、須藤泰助、関根フミイ、蛭田クマ子、星文子、理事（分会長）…白坂重雄（西野）、関根勝義（西山）、矢吹博（中野）、矢吹幸一（東野）、生田目定之助（富田）、赤坂貞雄（渡瀬）、岡部勝正（青生野）

‖新年度の主な事業‖

①広報活動、②村外青年会との交換会、③体育レクリエーション大会、④野球バレー大会、⑤うたごい活動、⑥農業問題研究集会、⑦剣道卓球大会、⑧運営問題研究集会

◉新しい婦人会役員

会長…藤田ミヨ、副会長…大池タカヨ、蛭田ケイ、会計…前田シツ、分会長…矢吹定子、（西野）、市川モト（西山）、鈴木サダ子（中野）、吉田キクノ（東野）、鈴木キノ（富田）、赤坂ヨシ子（渡瀬）、森田トシノ（青生野）

‖主な事業‖

①婦人講座（リーダー養成）②婦人学級開講、③各分会巡回講座（年に四回）、④母子寮愛生園慰問、⑤政治学習⑥村議会傍聴

中央婦人学級生募集

このたび文部省の委嘱をうけて村公民館と婦人会の共催にて開講します。学習時間は年間約50時間で主として農家の主婦としての営農知識や生活改善、保健衛生、家族関係との法律など婦人の教養向上に役だつ講座を専門の講師により実施します。この講座は年間をとおして出席できる方を対象にして定員制で実施しますので、希望者（年令40才ぐらいまで）は6月20までに各婦人分会長さんに申しこんで下さい。

◉お知らせ

商工会事務局に経営指導員として福島市から浜中忠雄氏が就任されました。

金融・税務・経理・経営・取引その他一般についての、良き相談相手として御利用下さい。

一週の内、月水金は巡回指導、火木土は窓口相談を事務所にて行います。

◉大工さんの賃金改正

四月一日より一日八〇〇円（従来七〇〇円）に値上することになった。なお従来の建築組合を解散し商工会木工部として新発足し、部長に上田啓治、副部長に白川政一の両氏が選ばれました。（商工会）

郷土の伝説

炭やき太郎

中井恒雄

昔青生野の山奥に炭焼の太郎という若者が住んでいました。太郎はとても目のよくきく、それはすごい炭焼の名人でした。その頃の炭焼は現在のような良い技術はありませんでしたから、原木のよしあしにありました。そのいい木をえらぶのに今日も高い山から遠くの山林を見おろしていました。

良い林もみつかったので町の方を見ていた太郎が、急に顔色を変えて、近くにあった大きな岩を一つかつぎあげ、けわしい山道をかけおりてゆきます。炭焼仲間や、木コリが「どこへゆく太郎どん?」という声に、ただ一言「おら見た、おら行く」と答えて町の方に消えてしまいました。



その頃町の朝日長者の家の前では、一人の若い娘が、なわでしばられて、人びとがそれをとりまいて「むごいこと」を。いくら父親が年貢の米をさしださないといっても、娘までしばりあげることはないだろうに」「あの家の田をとりあげておいて…」人々はこう話しています。この時、山のほうから一人の若者が近ずいてきました。炭焼太郎です「おら見た。悪い長者だ。むすめをはなせ。皆さんこれを見て下さい」そういうと、山からかけおりてきた炭焼太郎は、かたの上にかついできた大きな岩で、どしんと長者屋敷の門をつき破りました。大きな門の戸は、こなごなにこわれて、庭一ぱいにほされているま白な米の海が、人々の目に入りました。「米はこんなにあまっているではないか。ここでは古い米に虫がつくので、虫ぼしをしているではないか!」人々は、これを見て、うおーと、いかりの声をあげて、娘のなわをとき、さらに、庭の奥で米つきの仕事をさせられていた娘の父親を助けました。人々は悪い長者をこらしめました。それからはこの町にも平和が来ました。人々は、炭やき太郎を大じにし、そして口ぐせにこういいました。

「あんたの目玉はすごい目玉だ。いつも俺たちのかわりにらんでいてくれ、悪い長者が見えないところでこつそりやっていることを」炭やき太郎は長者の朝日を青生野の山につけ、朝日山の上から「ど見まもっていました。

ひとこと

学校給食に想う

学童生徒の健康維持と体位向上のために学校給食の問題が大きく浮びあがってきましたが、多額の経費がかかるのに国や県の補助が少なく村やPTAの負担が多くなるため容易に実現できないのが現状のようです。とくに私たちの村のように小さな学校が多い場合は、同じような施設をいくつも造るため経費もかさみます。

ここで私が提案したいのは村に大きな施設をつくり専門栄の養士と炊事婦をおいて、栄養豊富で安い食事を大量に作り各校に配達するようにしたら、学校の授業に支障をきたすこともないしPTAの負担も軽減されると思います。

この事業を村が補助して農協がとりあげてゆけば給食費の問題も解決するし、農繁期の共同炊事に役だつことも考えられますので関係者の一考を、お願いします。

（一PTA会長より）

……このひとことらんは村民の皆さんの御意見や御希望を掲載してゆきますので、編集部まで投稿下さい。紙上トク名を認めますが原稿には住所氏名を明記して下さい。……

あとがき

▽選挙にあけ選挙にくれた四月もすぎ一年中でいちばん忙しい田植の時期……遅れた仕事をとりもどすのに、どこの家でもテンテコ舞いのようです。選挙中は野良にでて働いている人が珍しかったのですから無理もありません。運動に多勢の人が動員されるのは身近な選挙だから、やむを得ないことかも知れませんが、仕事を休んでまで運動にたずさわるようなことはさけたいものです。

▽激しい村長選挙のカゲにかくれて議員選挙はカスんだような形になりましたが、村民を代表して予算をはじめ各種議案を議決する機関ですから、もつと関心をもつべきではないでしようか新しく選ばれた十八名の議員さん方の活躍を期待するとともに、私たち選挙民も村政に関心を高めてゆきたいものです。

▽編集がおくれたのと印刷所の都合で月おくれとなつたことをおわびします。

◉訂正

昨年暮れに新生活運動の一環として各戸に配付しました暦に一部あやまりがあつたので訂正いたします。

八月の行事らん

敬老会（十五日）を削除して下さい。